学校だより

平沼

令和５年２月２８日
横浜市立平沼小学校

Mail；y3hiranu@edu.city.yokohama.jp
URL；http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hiranuma/

みんなで学ぶ場を大切に

校長　　寺岡　徹

「ここは私が書いたんだよ！」

１年生が届けてくれた「たぬきの糸車」音読劇招待状を受け取った時の言葉です。学習した漢字を丁寧に使い、しっかりとした筆圧で書かれた招待状は、この１年間の学習の成果、成長を感じさせてくれました。何より、自分が書いた場所を指し示す言葉には自信がありました。

本校では、子どもたちが「期待して登校し」「熱中して学び」「満足して帰る」学びの場として学校が存在することが大切であると考えております。そして一人ひとりを大切に、みんなのことを大切にする学校創りを子どもたちと取り組んできました。

今年度も振り返ると新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、様々な人との交流の機会が減り、多くの教育活動は中止や内容の変更が余儀なくされました。ただ、少しずつできることを模索し、取り組んだ一年でもありました。そうした取り組みの一つに外部講師による出前授業があります。様々な学びの機会をご提供いただいた皆様、ありがとうございました。

４年生がお話を伺ったパラリンピアン車いすラグビー選手、三阪洋行さんからは3つのお話がありました。１点目は、「できない」ではなく「どうすればできるか」を考えること。2点目はたくさんの「違い」にであうこと。3点目は夢を見つけたら続けることというお話でした。

子どもたちは三阪さんの言葉を受け止め、それぞれに考えを深めている様子でした。こうしたお話を伺い、改めて学校は「みんなで学ぶこと、考えること、取り組むこと」のよさや価値を味わう場でありたいと思いました。様々な考え方に出会い、学び、吸収し、自分のものにしていく、そんな学びの場でありたいと思います。

今年度も、みんなで考え学ぶ姿にたくさん出会いました。学校生活を送る中では、困ったことや残念な気持ちになることもあります。でも、それらをどう解決していくかも含めて、みんなで過ごすことの価値であり、学びであると考えます。できないことが多く、下を向いてしまう気持ちになりそうな中、できることを模索し、その中で楽しみ、ともに学ぶ子どもたちのしなやかさと力強さに大いに学ばされた一年となりました。

令和４年度、保護者、地域の皆様、共育ネットワークの皆様、関係機関の皆様に支えられ教育活動を進めることができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。令和5年度も平沼小学校をどうぞよろしくお願いいたします。